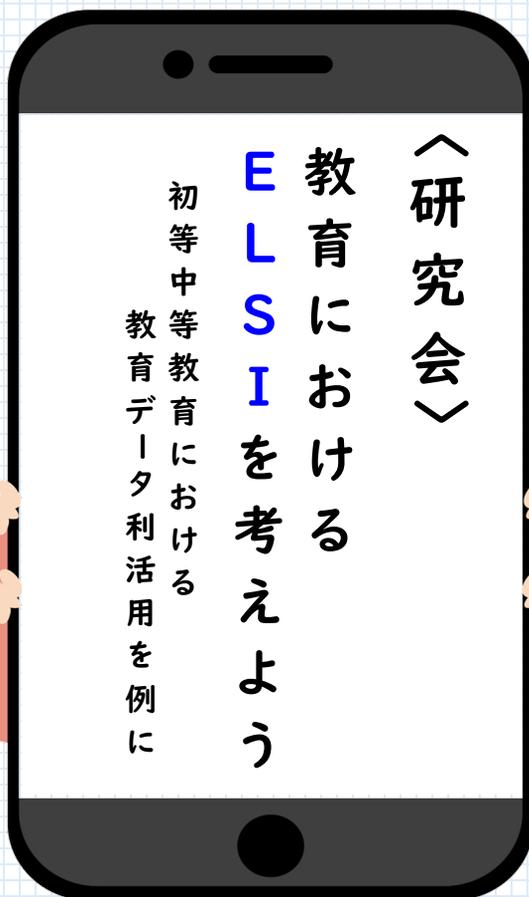


※本研究会は、内閣府によるSIP(戦略的イノベーション創造プログラム)の課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」における研究開発「真正で探求的な学びを実現する教育コンテンツと評価手法の開発」(研究開発責任者:松下佳代)の一環として行っています。



お申込みは

↓ ↓ こちらから ↓ ↓



新規科学技術を社会実装した際に生じる技術的課題以外のあらゆる課題を指す、ELSI (エルシー) と呼ばれる問題意識が、教育分野でも議論され始めています。ELSIは、倫理的・法的・社会的課題 (Ethical, Legal and Social Issues) の頭文字をとった用語であり、1990年に生物学分野において始まりました。現在は、コンピューターサイエンスを含む様々な新規科学技術について議論がなされています。

本研究会では、教育分野に関わるELSIのうち初等中等教育における教育データ利活用の問題、とりわけその際に生じる被教育者からの同意をどのように尋ねるべきかについて、取り上げます。

ELSIについて知りたい方、教育データ利活用について知りたい方、教育現場においてデータ利活用をどう始めるか頭を悩ませている方など、どうぞふるってご参加ください。

- 18:30-18:35 趣旨説明 松下 佳代 (京都大学大学院教育学研究科教授)
- 18:35-18:45 「教育データ利活用の概要」 久富 望 (京都大学大学院教育学研究科助教)
- 18:45-19:10 「教育分野におけるELSI入門: データ利活用のための同意をめぐる」 岸本 充生 氏 (大阪大学 データビリティフロンティア機構教授/社会技術共創研究センター長) (質問5分・休憩5分)
- 19:20-19:35 「初等中等教育における教育データ利活用をどう始めるべきか —本質的困難と解決案の提案」 久富 望 (京都大学大学院教育学研究科助教)
- 19:35-19:55 ディスカッション
- 19:55-20:00 まとめ